

アカウントとは？

パソコンやスマホでは「アカウント」の登録を求められることがあります。英語”account”は「口座」を意味します。銀行口座からお金を引き出す場合、口座番号と印鑑（ATM では暗証番号）が必要です。口座番号は「誰の口座かを確認する」ために必要であり、印鑑は「間違いなく本人であることを確認する」ために必要です。即ち、口座番号は「個人の識別」に、印鑑は「本人確認」に使用します。

ITの世界では、例えば、メール、Facebook などを使って、大勢の人が情報をやりとりします。これらのソフトを処理するコンピュータでは、銀行が大勢の人の預金情報を管理しているのと同様に、大勢の人の情報を管理します。コンピュータが情報を受け取る度に、誰の情報で、かつ、本人の情報であるかを確認します。そのために、ユーザにアカウントの登録を求めます。

通常、アカウントはIDとパスワードで構成されます。IDは個人の識別のため、パスワードは本人確認のための情報です。IDは世界で唯一でなくてはなりません。同一同名の人がいるので氏名は使用できません。銀行の場合、銀行名+口座番号にて世界で1つを実現しています。ITの世界では一般的に電子メールアドレスが使用されます。

	銀行口座	アカウント
個人(口座)の識別	口座番号	ID(ユニークな番号)
本人確認	印鑑/暗証番号	パスワード(PW)

アカウント情報を忘れると、メールやFacebook等が使用できません。あっちでも、こっちでもアカウントの登録を求められるので、全て同じにしてしまいたいところですが、1つの機能でアカウント情報が知られてしまうと、他の機能も他人に使われてしまいます。よって、パスワードは別々にすべきです。となると、パスワードを覚えていられないので、しっかり記録しておきましょう。